

木の先にある
森や山に興味をもってほしい。

農林振興課としては積み木に関わる円卓会議などに参加して関わってきましたが、新たに「森林環境譲与税」が始まったことでこれからは財源の面で大きく木育に関わっていきます。「森林環境譲与税」は担い手不足の背景もあり森林の荒廃が進む中で深刻な自然災害や地球温暖化に対する二酸化炭素問題の解決が急務とされる流れを受けての森林の整備を目的とした施策ですが、それには人材育成や木育、木材利用の促進などの目的も含まれていて、整備して木材を上手に使うっていく流れを作るために利用できる財源となります。森林を整備することがどう環境問題につながるのかということとはなかなか見えにくいものですが、木は二酸化炭素を吸収して固定するため、それを木材にかえて活用することは実は環境のために大きな意味をもつことです。改めてこの積み木でみなさんに木の良さを知ってもらい、生活の中で木を使う場面が増えてほしいということはもちろん伝えたいことですが、さらにその先の山に興味をもってもらいたいです。ちょっとしたことで良いので山に入る機会を見つけてほしいです。山の現状や課題、自然に触れる良さを感じてもらうことで、木をくらしに取り入れるきっかけになるといいと思います。



【お話を伺った方】

邑南町役場 農林振興課

三浦 雄一郎さん / Yuichiro Miura



おおなん みんなの つみき vol.2

みんなのつみきにできること

みずもく協同組合・邑南町役場／地域みらい課・保健課・農林振興課

おおなんみんなのつみき特設Webサイトからみなさまのご意見、ご感想をお待ちしております。

おおなんみんなのつみき
Webサイトはこちらから→



〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上6000 邑南町役場 地域みらい課

このまちの86%にドキドキしよう 邑南町は木育を推進します。

みんなの つみきに できること

子育て

親子が遊ぶ一瞬の時間が、一緒にの時間になりますように。

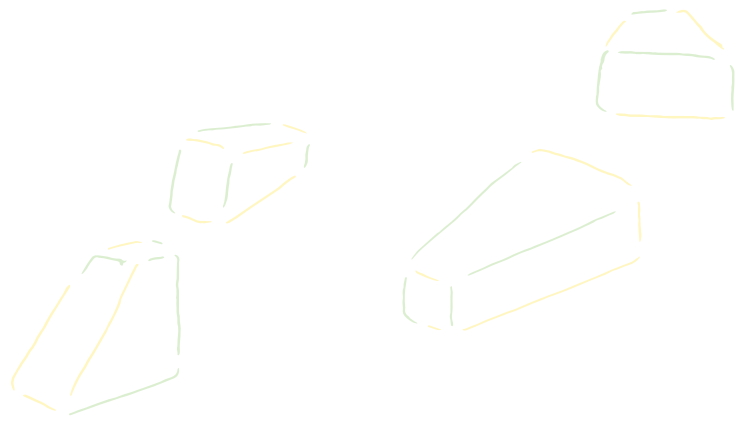
私は保健師として、この積み木を渡すことを健診の流れにくみこんで、養護学校の方にスペースを提供したり、スタッフの皆さんに理解をしてもらうようなことでこのプロジェクトに携わりました。一歳半というタイミングは、個人差はありますが積み木を上に乗めるようになる時期なんです。その時の育ちを見るために積み木はお家にあってほしいツールでもありますし、子供が一人で遊べる道具も増えてきて親子一緒に遊ぶ時間が少なくなってきたと感じる中でこの積み木で一緒に遊んで親子で過ごす時間を大切にしたいという提案をする気持ちでこの積み木を渡しています。今は健診時にハガキを手元に用意して、積み木のことを説明して、作ってくれている生徒さんに感想などを返信してくださいとスタッフが心をこめて伝えるように努力をしています。加えて養護学校さんとの関わりの中ということも大



【お話を伺った方】

邑南町役場 保健課

坂本 晶子さん / Shoko Sakamoto



この町で生まれた
「木」としてのつみき。
この町ならではの
「子育て」に関わるつみき。
この町の「山」を守るためのつみき。
みんなのつみきには
たくさんのお想いと
メッセージが込められています。
それぞれの角度からのお話を伺うことで
このつみきから広がる
あらゆる可能性を
受け取るみなさんと一緒に考えます。

子育て

この町で生まれた木と、この町で一緒に子育てを。

邑南町では「日本一の子育て村」という構想のもと、子育てをサポートする様々な取り組みをしています。その

中で「ウッドスタート」という木育への取り組みの軸となっているのが現在行っている積み木のプレゼントです。養護学校の生徒さんが提案したことが始まりでしたが、振り返ってみると形になるまでにはかなりの時間を要しました。何度も議論を重ねながら、デザインを矢上高校の先生や生徒さんをお願いしたり、保健師さんには遊ぶ年齢に適した形状について相談しました。たくさんの方のご協力のもとやっと実現することができました。全国で木の誕生お祝い品を渡しているところは多いですが、それを地元の学校と企業で協力して手作りをしているところは多くはありません。目的があつて、製造過程にもきちんといるがあるというところは邑南町ならではの取り組みです。制度の充実だけではなくて、そう

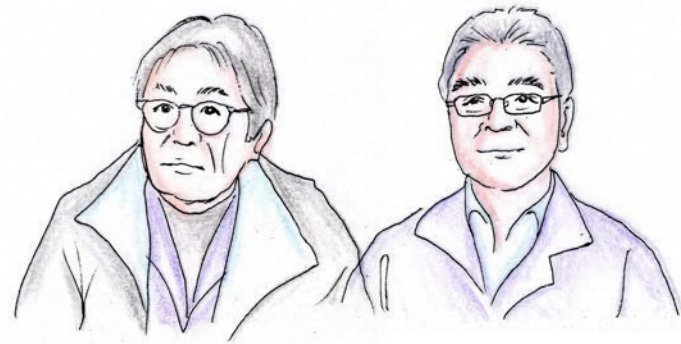


【お話を伺った方】

邑南町役場 地域みらい課

田村 哲さん / Satoru Tamura

いった地域に根ざした子育てのサポートを邑南町ではめざしています。邑南町は子供たちを大切にしている町だということですが、沢山の方に伝わるといいですし、積み木の向こう側には、製作している養護学校の生徒さんの成長や、健診で積み木を手渡されている保健師さんの思いがあることも沢山の人に知ってほしいことです。



【お話を伺った方】

みずもく協同組合（有限会社 増田住建）

増田 新さん / Shin Masuda 多田 博雄さん / Hiroo Tada

まずし、双方にとって良いことがあるという点ではこの町の活性化にあたってとても良いことだと考えています。木には匂いや触り心地で人を惹きつける力があると思います。この積み木を受け取る親御さんたちにも、その良さを感じてもらえるきっかけになるといいですね。

木材

このつみきの良さを、たくさんの人に発信してほしい。

みずもく協同組合は機械の共同利用を目的に企業が集まって、素材生産から製材、建築と町内で伐採した木を町内で使うという縦の流れを作るために設立されました。協同組合としてあらゆる木材利用法を思案する中で、林業と福祉の連携という構想をもつことで石見養護学校さんとはもともと関わりをもっていました。そこで積み木の外箱の製作を依頼されたのがこのプロジェクトに関わったきっかけで今もその製作を担当しています。提案当初、まずは外箱がどんな形がいいかというところで、今の形の他にもいくつか案が出たり試作も重ねました。木育円卓会議という大きな場だけでなく、製作関係者だけの話し合いも何度も行いました。また、外箱に使う樹種については町産材というくくりの中で、安定して量が確保できる樹種といういうことと加工しやすいという点で杉材を選びました。私たちは事業者なので、この町で生まれた木をどう大きく動かすかということが常に目的としてあります。それにはまず邑南町の森林面積が広いことはもちろん、この町に住む人たちに木への興味を持っていただくことが必要です。この積み木を受け取った人にもどんどんその良さを発信してほしいですし、声をあげてほしいなと思っています。また福祉との連携というところでは、石見養護学校の生徒さんが働く場所として林業と結びつくといういいなという想いは持ってい